



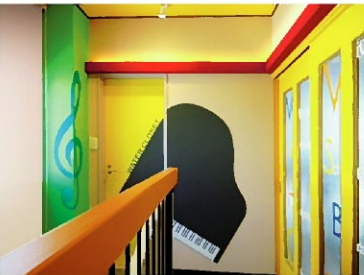
## ARCHITECTURE REVIEW



### 建築見て歩記 その81

高知県梶原町…1994年の「雲の上のホテル」以来、この町では隈研吾の建築が次々と建っています。この「木橋ミュージアム」は、そのホテルと隣接する温浴施設と繋ぐための通路として、2010年に増築されました。まるで一本足で立っているような姿は、トリッキーな印象も与えますが緑の里山をバックにした木組みの力強さは、迫力とともに美も感じます。

## CURRENTLY WORKS



### ピアノ教室のリニューアル その1

住宅2階でのピアノ教室のリニューアルです。生徒の子供たちに対して音楽の楽しさや、演奏することの喜びを感じてもらえることを目指して「遊び心」を随所に設えています。写真は、階段を上がったホールです。階段正面には、WCドアと壁面にまたがって、ピアノのアイコンを配し右手の引き戸には、偉大な作曲家達の名前をグラフィック化しています。

## PRIVATE TOPICS



### 藤原のこだわり その17

京都 嵯峨野にある滝口寺です。ここは「平家物語」で有名なお寺です。男女の悲しくもひたむきな話の通り、雰囲気も飾りがなく非常に質素な趣きです。隣の「祇王寺」と同様に自然のなかにひっそりと佇む場所にあります。たまには都会を離れ、静寂に満ちたこのような場所で昔の時代背景・空気を感じつつ、想像に浸ってみるのも面白いと思います。

## EDITORIAL NOTE

4月の入学式…小学校では、新1年生が大きなランドセルを背負って通学します。この「ランドセル」の起源は、幕末にオランダから伝わった「背囊」(オランダ語でランセル)で、これがなまり、日本ではランドセルとなりました。1885年学習院の正式鞆となるものの、庶民に広まるのは1955年頃からです。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島